

龍高通信



☆第12号☆
兵庫県立龍野高等学校 研修広報部
Tel: (0791) 62-0886

百年樹人



校長 清重安男

校長室の窓から眺めるク
スノキの大樹は鮮やかな新
緑の葉をつけた枝を四方に
伸ばし、樹勢の順調な回復
ぶりを誇示しています。樹
齢百年を超えると言われ
ているこのクスノキを眺めて
いると、「百年樹人」とい
う言葉が頭に浮かびます。

「十年樹木、百年樹人」は
中国の春秋時代、齊の宰相
であった管仲の思想の中で
も特に有名なものです。昔
仲の著とされる「管子」の
中に「一年之計莫如樹穀、
十年之計莫如樹木。終身之計
莫如樹人。一樹一穫者穀也。
一樹十穫者木也。一樹百穫
者人也。」(一年で利益を
上げるべく立てる計画とし
ては、その年に収穫できる
穀物を植えるのが最も良
い。十年の計画としては、
樹木を植えるのが最も良
い。一生の計画としては、
人材を養成するのが最も良
い。一を植えて一の収穫を
得るのは穀物であり、一を
植えて十倍の収穫を得るの
は樹木であり、一を植えて
百倍の収穫を得るのは人材

である)というのがあるま
すが、ここから引用された
言葉です。
この言葉で管仲が最も重
要視しているのは人材の育
成という点です。人材の育
成には時間がかかるが、国
家は長期的な展望に立っ
て、しっかりと長い時間を
かけて質の高い教育を施
し、国家の利益になり得る
人材の養成に努めよ、とい
う趣旨だと解釈されていま
す。

人材の育成に教育が果た
す役割は非常に大きい。教
育を考えると、「教育は
生徒の成長を通して社会を
どのように変えていくの
か、言い換えれば、教育を
通じて教師は社会にどのよ
うに貢献していけばいいの
か」という教育者が忘れて
はならない命題がありま
す。

教育について考えると
き、本音を言えば、実際に
は難しく分からないこと
が多いのですが、分からない
ことは、やはり分からない
いと徹しく認識して、純粋
に教育に向き合いたいと思
うかなければならないと思
っています。時代遅れだとい
う一言で、教育の不届の部
分を切り捨ててしまおうと教
育の本質を見失ってしまう
恐れがあります。たとえ世
の中の情勢が変わっても、
教育者として守らなければ
ならないものは毅然として
守っていく、生徒の傍らに
立ち、教師が自分の命と時
間と能力を使って、真に教
育の本質とは何か、常に追
い求めていかねばなら
ないと感じています。教育
の質を高め、有為な人材を
育成することが、社会に貢
献することだと信じ、「百
年樹人」の想いを大切にし
ていきたいと思えます。

さて、平成23年度からい
よいよ西播磨学区にも複数
志願選抜が導入されます。
この制度は県立高等学校教
育改革の一環として、これ
まで県下11地区に導入され
てきました。この制度に従
来と大きく異なる点は受験
生が複数校を志願できるこ
とです。進路に応じて二校
まで出願できるので、人気
のある特定の高校に志願者
が集中する傾向がありま
す。本校でも、複数志願制
度の導入を機に、魅力のあ
る質の高い進学校として、
総授業時間数の見直し等
新たな取り組みを始めたと
ころです。本年度は、東京
大学、京都大学、大阪大学、
神戸大学等、難関国立大学
の現役合格者数で、数値目

考えています。



学校行事のようす

入学式

4月8日(木)午後1時
より、龍野高等学校第65回
入学式が本校体育館にて行
われました。晴天にも恵ま
れ、満開の桜が新入生三百
二十名を迎えてくれました。

学校長より、龍野高校の
校訓にあるように学校生活
を充実させること、志・理
想が高ければ、第一歩は現
実的であるべきとの式辞が
ありました。

入学生徒を代表して1年
4組の久保田翔君が、「心
身を鍛え、勉学に励むこと
を誓います」と、真摯な態
度で入学宣誓しました。
最後に合唱部と生徒会役
員による校歌が披露されま
した。式終了後、新入生は
ホームルーム教室へと向か
い、龍高生としての生活が
スタートしました。



標がほぼ達成されました。
三年間を見通した進路指導
が一層強化しながら、「文武
両道」の学校として地域
の信頼に応えられるよう、
さらに努力していきたいと
考えています。

教頭挨拶

教頭 出田豊久



このたびの異動で、県立
龍野高等学校に教頭として
着任しました。よろしくお
願いいたします。

平成22年度は、経営方針
として次の二つを掲げてい
ます。1、「向上」「友愛」
「団結」の校訓を根幹に据
え、豊かな感性と人間性を
涵養するとともに、思いや
りの心を持った「知・徳・
体」の調和のとれた人間形
成を目指す。2、基礎的・
基本的な知識の習得とお
して「確かな学力」を身に
つけさせるとともに、生涯
教育社会を生き抜くための
思考力、判断力、表現力を
身につけた21世紀を逞しく
切り拓くり、リーダーを育成す
る。この教育方針のもと、
以下のこと―1、特色ある
教育活動の実践、2、活力
ある学校教育の推進、3、
心の教育の充実、4、地域
に信頼される学校文化の創
造、5、新たな伝統づくり
に向けた学校教育のグレイ
ドアップ化―に校長のリー
ダーシップのもと、全職員
が一丸となって取り組んで
いきます。

保護者や地域の皆さま方
には、今後とも本校教育の
発展にいつそごご支援、
ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

教職員異動

離任者(転出先)

- 西村彰範 (福岡(校長))
- 米田進 (退職(再任用))
- 三木康道 (退職(再任用))
- 田村淳 (退職)
- 三村美恵子 (退職)
- 笠原弘樹 (小野)
- 宮下久仁子 (姫路市立姫路)
- 東道恵子 (相生)
- 挽本智裕 (姫路商業)

着任者(前任校)

- 出田豊久 (師磨工業)
- 宮崎裕太 (新任)
- 永尾俊博 (臨時講師)
- 岡本章 (龍野北)
- 松本京 (姫路西)
- 三浦一恵 (赤穂)

教務略

ロイズベルト高校訪問

国際交流体験事業の一つとして、アメリカ合衆国
のワシントン州シアトルにあるロイズベルト高校
と交流をしています。
今回で3回目の派遣となり、3月15日から26日ま
での期間で実施されました。龍高生(男子3人、女
子7人)がホームステイをしながら国際交流体験
を行いました。

【生徒の感想】

◎この旅は僕の物の見方、◎一番の目的である、英語
考え方や将来の生き方に大
きく影響したことは間違い
ありません。どんなことに
も積極的に挑戦することの
大切さを、知らないこと
だらけでも自分次第で変え
ていけることを実感しまし
た。何かに行き詰まった時
はこの経験が励みになるで
しょう。僕がアメリカの地
で学んだことは決して英語
だけではありません。こん
なに充実した刺激的な二週
間はあります。まるで不
思議な夢のような旅です
た。心から留学して良かつ
たと思います。今回この交
流事業に関わってくださ
った先生方、家族、そしてホ
ムステイ先の人々に感謝
し、それらを忘れることな
く、これからの人生を切り
上げる糧にしようと思いま
す。

◎このホームステイで、た
くさんのことが学べた。日
本と違うところもけっこう
あることが、わかった。そ
して、自分の英語はまだま
だだということを感じら
された。でも、言葉が通じ
なくても、多少はなんとか
なるんだと思った。本当に
このホームステイに参加し
てよかったと思う。最高の
思い出になった。これから
は、この経験をもちにまっ
と、外国でも英語が使える
ように、勉強していきたい。

大学入試結果

平成21年度の大学入試で
生徒はよく健闘し、堅実な
結果を残しました。62回生
は、皆勤賞受賞者が65名に
のぼり、高校生活に真面目
に取り組んできた学年でし
た。

主な結果は、北海道大学
(1名)、東京大学(1名)、
名古屋大学(1名)、京都大
学(4名)、大阪大学(11名)、
神戸大学(13名)、鳥取大学
(12名)、岡山大学(15名)、
広島大学(6名)、徳島大学
(7名)、九州大学(1名)、大
阪府立大学(5名)、大阪
市立大学(1名)、兵庫県立
大学(27名)などです。

5月行事予定

- 5月12日(水) ロイズベルト高校 訪問報告会
- 5月18日(火) 中間考査
- 5月21日(金) 中間考査
- 5月28日(金) 創立記念講演会

